



大阪科学・大学記者クラブ 御中

(同時資料提供先：関西レジャー記者クラブ、枚方記者クラブ)

2024年4月24日

大阪公立大学

入園料・参加費無料

## 植物園で考える生物多様性とは？ 5月22日「国際生物多様性の日」

5月22日(水)は国連が定めた「国際生物多様性の日」です。大阪公立大学附属植物園では、国際生物多様性の日を広く知ってもらい、生物多様性について考えてもらうため、5月22日を特別に入園料無料とします。あわせて、『植物園で考える生物多様性とは』と題して、3人の研究者によるレクチャーと園内ガイドツアーを無料で開催します。

当園は、植物学の基礎研究の対象として多くの植物の収集と保存に努めており、わが国の代表的な11種類の樹林型を復元しています。また、社会的課題となっている絶滅危惧植物の保全活動も推進しており、特に西日本産の絶滅危惧植物の収集に注力し、遺伝的多様性の解析や増殖方法の開発を行っています。

全国唯一の共同利用・共同研究拠点の植物園として、これらの収集物を広く研究者に提供し、植物学の発展に貢献するとともに、研究の成果を社会に紹介する活動を行い、園内を広く一般公開しています。

今回のレクチャーでは、来年発足75周年を迎える当園の歴史の振り返りや、環境省より認定希少種保全動植物園等に指定された全国唯一の植物園として当園が取り組む絶滅危惧植物の保全活動、さらに、当園の教員によって110年ぶりに発見された日本産ユリ属の新種「ミナミスカシユリ」について紹介します。

ぜひ広くご周知いただくとともに、ご取材についてご検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。

### 【概要】

- 開催日時 2024年5月22日(水) 14:00~16:00 (雨天実施)
- 会場 大阪公立大学附属植物園 実習室・園内 (大阪府交野市私市2000)  
アクセス：京阪電車交野線「私市(きさいち)」駅下車、徒歩約6分  
※園内駐車場は、16時30分以降はご利用いただけません  
公共交通機関をご利用ください
- 入園料・参加費 無料
- 参加方法 当日12時30分より植物園事務所窓口にて整理券を配付し、先着30名様までとなります  
※中学生以下の方は必ず保護者同伴でお願いします

5 プログラム

14:00~16:00 研究者によるレクチャー、園内ガイドツアー

<p>歴史を知れば楽しい！ 大阪公立大学附属植物園の歩み</p>	<p>名波 哲 (理学研究科教授・ 植物園園長)</p>	 <p>生きている化石 メタセコイア</p>
<p>植物の多様性を守る！ 絶滅危惧種の保全の取り組み</p>	<p>厚井 聡 (理学研究科准教授)</p>	 <p>絶滅危惧種 コケリンドウ</p>
<p>日本産ユリ属の新種を発見！ ～約200年謎に包まれてきたオ レンジ色のユリの正体に迫る～</p>	<p>渡邊 誠太 (理学研究科特任助教)</p>	 <p>ユリ属の新種 ミナミスカシユリ</p>

【本件に関する問い合わせ先】

大阪公立大学附属植物園 担当：中野  
TEL：072-891-2059 (9:00～17:00)  
FAX：072-891-2101  
Mail：gr-bg-info@omu.ac.jp

【取材に関する問い合わせ先】

大阪公立大学 広報課  
担当：永田  
TEL：06-6605-3411  
Mail：koho-list@ml.omu.ac.jp